

事務事業名		社会就労センター運営事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	健康福祉部
総合計画体系	基本政策	2	支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり	課・室	中野社会就労センター・豊田社会就労センター
	政策	03	地域が支えあう福祉体制の確立	係	
	施策	01	自立した生活の支援	内線電話	8013~8016
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	3款	民生費	未計上	
	項	1項	社会福祉費	実施期間	
	目	6目	社会就労センター費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	一般就労が困難な者	利用者の個々の能力に合った就労支援を継続して行う。
現状・課題	利用者の技能に応じた作業を提供し、作業能力の向上を図りながら就労継続支援を行う。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	生活保護法、障害者総合支援法、中野市社会就労センター条例
事務事業概要	一般就労が困難な障がい者及び要保護者に就労の場を提供し、作業指導、支援を通して自立助長を図る。また、就労継続支援のサービスを提供する。	
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容	
	作業工賃支払	活動量
		月平均62人

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		22,495,000	23,132,000
補正・流用等		円				—
合計		円		22,495,000	23,132,000	23,050,000
決算（見込）額 A			円	20,456,700	23,132,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		20,385,664	23,132,000	23,050,000
R2は予算額	一般財源	円		71,036	0	0
正規職員数			人	0.84	1.05	1.05
人件費 B			円	5,404,560	6,764,100	6,764,100
総事業費 A+B			円	25,861,260	29,896,100	29,814,100
市民1人当たりコスト			円	605	703	703

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
作業指導・支援した人数 （月平均）		維持	目標	62	人	62	人	62	人
			成果	59	人	62	人	—	
就労継続支援A型事業所及び一般 就労へ移行した人数		維持	目標	3	人	3	人	3	人
			成果	0	人	1	人	—	
成果指標と目標値を設定した理由	一般就労が困難な者に就労の場を提供することにより、知識及び能力の向上につながり、自立支援が図られるため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	利用者の能力に応じた受託事業の開拓を行い、積極的に就労支援を行っていく。						

